（様式第２－３５号）

農地改良届出書

年　　月　　日

東広島市農業委員会会長　様

届出者住所

氏名

(連絡先：電話番号 )

次の農地を改良したいので、届け出ます。また、工事区域が増加するなど工事に著しい変更があった場合は、変更後の届出書を提出します。

なお、工期の延期により１作（最大で１年未満）以上耕作できない場合又は盛土高が１メートルを超える場合は、直ちに農地法第４条第１項又は第５条第１項の農地転用（一時転用）の許可申請を行います。

１　届出の農地

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 土地の所在 | 地番 | 地　目 | | 面積  （㎡） | 利用状況 | 所有者氏名 | 耕作者氏名 |
| 登記簿 | 現況 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

２　改良しようとする土地の状況及び理由

３　改良後に作付けする作物

４　工事の概要

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 工事の始期 |  | 工事の終期 | |  |
| 施工業者・代表者 | （住　所）  　　　　　　　　　　　　　（連絡先） | | | |
| 搬入土砂の発生場所 |  | | 土量 | ㎥ |

５　所要経費及び資金の調達方法

６　その他参考事項

添付書類

（表）

１　申請地に係る登記事項（全部事項）証明書（登記情報提供サービスによる照会番号付き

不動産登記情報も可）

２　地番図（公図）及び所要面積の確認できる図面

３　付近の見取図（位置図）

４　工事図面（平面図、横断面図、仮設工事図等）

５　被害防除措置計画書（様式第２－３６）

６　届出者以外に所有権その他の権利を有する者がある場合はその同意書

７　法令の許可が必要な場合はその許可書（土砂条例等）

８　現況写真

注　１作（最大で１年未満）以上耕作できない場合及び盛土高が１メートルを超える場合は、本届出によらず、農地転用（一時転用）の許可申請が必要です。

届出者は、原則として所有者又は耕作者とします。

（様式第２－３６号）

（裏）

１　土砂の流出、崩壊等に対する被害の防除措置

(1) 土地の造成等の計画

ア　盛土高約　　　ｍ、切土高約　　　ｍ

(2) 土砂の流出、崩壊等に対する防除措置

ア　特に被害を生じるおそれはないので、現状の土地（法面）のまま使用する

イ　（　ブロック積　　石積　　その他（　　　　　　　　　））

ウ　法面保護をする（　芝張り　　モルタル吹付け　　植生　　その他（　　　　　　　　））

エ　土留工事をする　　　　　オ　緩衝地を設ける　　　　　カ　防護柵を設ける

　　キ その他（具体的な方法）

２　周辺の農地（採草放牧地）の営農条件に支障を及ぼさないための措置（用排水路及び通作道の確保、工事用地からの排水等）

*（記載例）特に影響はないので防除措置はしないが，措置が必要となった場合は講じる*

*影響があり防除措置を講じる（具体的な方法を記載）*

注１　該当する箇所に○をするとともに、必要事項を記載すること（複数回答可）。

２ 添付書類の図面には、土砂の流出・崩壊等に対する措置（擁壁など）をする場所及び用水・排水の経路を明らかにしておくこと。